

AirMagnet Survey PRO v12.0 Release Notes

June 23, 2025

AirMagnet Survey PRO は、2.4GHz、5GHz、および 6GHz 帯域の 802.11a/b/g/n/ac/ax 無線ネットワークの計画およびサーベイに必要なすべてを備えた、WLAN のプロフェッショナルを支援する強力で使いやすいWLANサイトサーベイツールです。

このリリースノートでは、本バージョンに含まれる新機能および改善点について簡単に説明します。

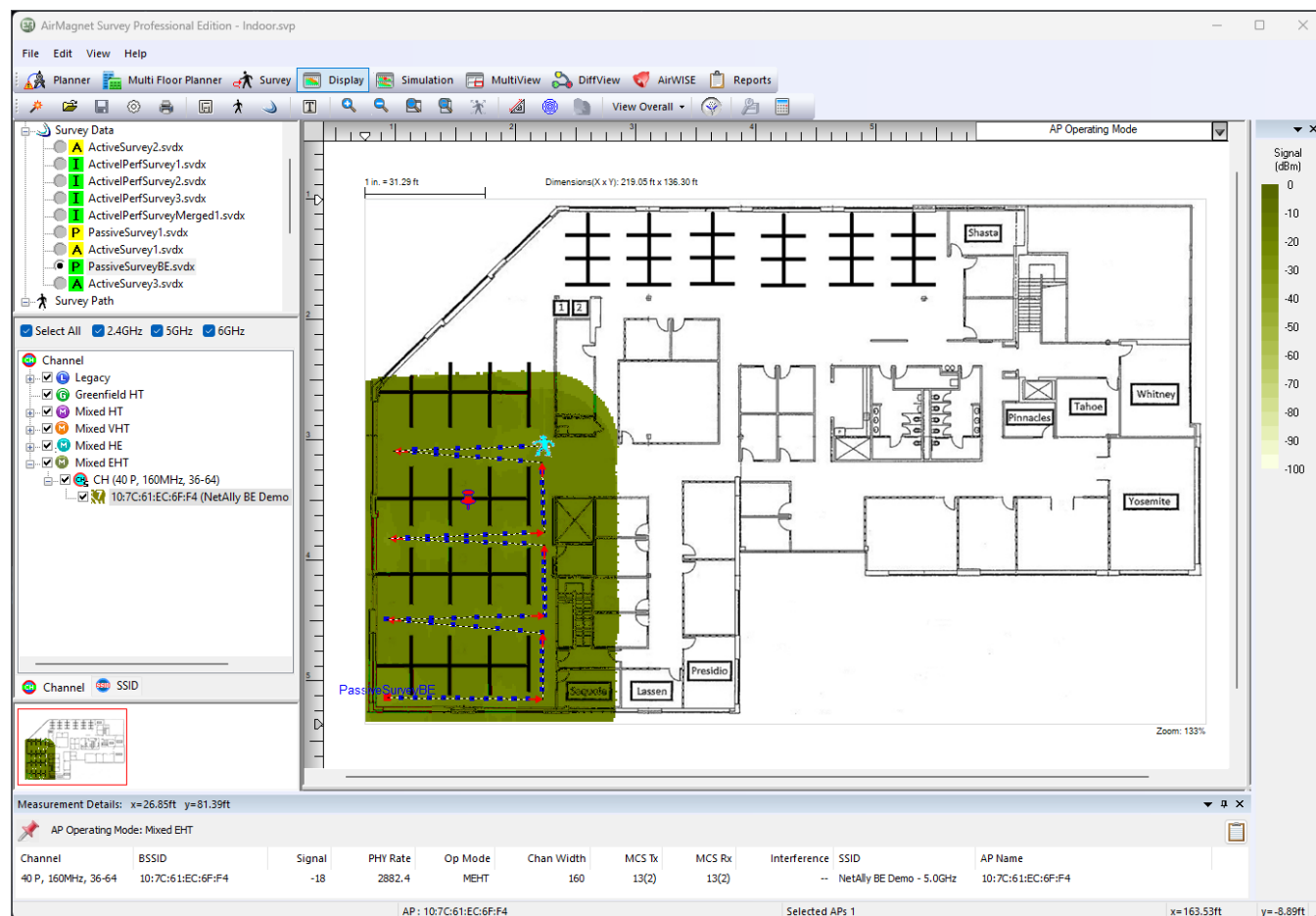
目次


バージョン12.0の新機能および改善点	2
Wi-Fi 7 サイトサーベイのサポート	2
Wi-Fi 7 AirMapper サイトサーベイのサポート	3
システム要件の更新.....	4
新しいアンテナパターン	4
バグ修正.....	5
既知の問題	6

バージョン12.0の新機能および改善点

Wi-Fi 7 サイトサーベイのサポート (現在日本で Wi-Fi7 対応アダプタは販売されていません)

本リリースから、AirMagnet Survey PROを使用してWi-Fi 7ネットワークの分析、トラブルシューティング、検証が可能になります。本バージョンでは、2.4GHz、5GHz、または6GHz帯において、Wi-Fi 7のアクティブ、パッシブ、またはiPerfサーベイを実施する機能が追加されました。今回新たに利用可能となったサイトサーベイ機能には、以下のものが含まれます。



- ネイティブのWi-Fi 7アダプターを使用して、アクティブ、パッシブ、またはiPerfサーベイを実行できるようになりました。これらのアダプターは製造元のドライバーを使用し、AirMagnet推奨アダプターで利用可能なすべての機能には対応していません。
- AirMagnet推奨アダプターリストにあるWi-Fiアダプターでも、Wi-Fi 7ネットワークに対してアクティブ、パッシブ、またはiPerfサーベイを実行できるようになりました。ただし、これらのアダプターを使用してアクティブまたはiPerfサーベイを実行する際の通信速度は、アダプターがサポートする範囲に制限されます。
- Wi-Fi 7をサポートするアクセスポイントを視覚的に強調表示するための、新しい専用アイコン  が追加されました。
- Wi-Fi 7で導入された新しい変調および符号化方式（MCS）値に関する情報が、表示されるようになりました。

- Wi-Fi 7で導入された超高スループット（EHT：Extremely High Throughput）動作モードに関する情報が表示されるようになりました。
- Wi-Fi 7を使用することで実現可能な、より高いデータレート値に関する情報が表示されるようになりました。
- 320 MHzのチャンネル幅を使用するように設定されたアクセスポイントに関する情報が表示されるようになりました。
- Survey、Display、MultiView、DiffView、AirWISE、およびReportsビューで、Wi-Fi 7および関連メトリクスのサポートが追加されました。すべてのレポートの翻訳も更新されています。

この新機能を使用する際は、以下の点にご留意ください。

- 本リリースでは、スループットシミュレーターにおけるWi-Fi 7のサポートは含まれていません。
- VoFiサーベイに対するWi-Fi 7のサポートは本リリースには含まれていません。
- シミュレーションモードでのWi-Fi 7アクセスポイントのサポートは含まれていません。
- Wi-Fi 7アクセスポイントに対する予測PHYデータレートの計算では、Survey PROは最大4ストリームまでの空間ストリームをサポートし、ガードインターバルは $0.8\mu s$ であると仮定します。
- 本リリースでは、アクティブまたはiPerfサーベイを実行する際のMACアドレスのランダム化には対応していません。
- Multi-floor PlannerツールでのWi-Fi 7サポートは本リリースには含まれておらず、今後のリリースで追加される予定です。
- ユーザーがカスタマイズしたすべてのレポートテンプレートは、Wi-Fi 7の新しいデータを反映させるため、このアップデート後に再生成する必要があります。

Wi-Fi 7 AirMapper サイトサーベイのサポート

これまでになく簡単に、Wi-Fi 7のパッシブサイトサーベイを実行できるようになりました！
ドングルも、ノートPCやタブレットも、外部接続デバイスも不要です！

本リリースからは、AirCheck G3、EtherScope nXG、CyberScope、または CyberScope Airの AirMapper を使用して収集した Wi-Fi 7 サイトサーベイデータを、AirMagnet Survey PRO にインポートすることが可能になります。

注意： AirMapper から Wi-Fi 7 アクセスポイントのデータをインポートする際、MCS（変調および符号化方式）値は常に13、空間ストリーム数は常に4として表示されます。

システム要件の更新

Survey PRO のシステムパフォーマンスとユーザーエクスペリエンス向上のため、システム要件が更新されました。

ノートパソコン / ノートブックPC / タブレットPC

Microsoft Windows 10 or 11 Pro/Enterprise 64-bit

- Intel® Core™ 7 プロセッサ以上を推奨
- 8 GB 以上のRAMを推奨
- 1 GB 以上の空きハードディスク容量を推奨
- AirMapper™ 対応の AirCheck G3 / EtherScope nXG / CyberScope (推奨)
または AirMagnet がサポートする無線LANアダプタ

Apple Macbook PRO (日本国内ではサポート対象外)

MAC OS X v10.5 (Leopard) 以降を実行しているMacで、Boot Campまたは仮想マシンを使用し、ノートPC/セクションに記載された対応Windows OSを実行している必要があります。

- Intel® Core™ 7 プロセッサ以上を推奨
- 8 GB 以上のRAMを推奨
- 1 GB 以上の空きハードディスク容量を推奨
- AirMapper™ 対応の AirCheck G3 / EtherScope nXG / CyberScope (推奨)
または AirMagnet がサポートする無線LANアダプタ

新しいアンテナパターン

今回のSurvey PROリリースでは、以下のアンテナパターンが追加されました。

Vendor	Antenna Pattern
Arista	C-120 (dual-band) C-130 (dual-band) C-130-EG (dual-band)
Cisco	CW9166D1 (tri-band) CW9172I (tri-band)
Extreme Networks	AP3000 (tri-band) AP302W (dual-band) AP4020 (tri-band) AP410i (dual-band) AP5010 (tri-band) AP510i (dual-band) AP560i (dual-band)

Vendor	Antenna Pattern
	AP460C (dual-band) AP460S12C (dual-band) AP460S6C (dual-band)
Fortinet	FAP-231G (tri-band)
Huawei	5761-12 (dual-band) 6760-X1 (dual-band) 6761-21T (dual-band) 6761-22T (dual-band)
Meraki	MR28 (dual-band) MR36H (dual-band)
WaveByAGC	GAWiFi6E4OV1 (tri-band)
Zyxel	NWA110BE (tri-band) NWA130BE (tri-band) NWA210BE (tri-band) WBE510D (tri-band) WBE530 (tri-band) WBE630S (tri-band) WBE660S (tri-band)

バグ修正

AMD-818 – CADレイヤーの表示設定に関係なく表示されてしまう問題を修正しました。

AMD-814 – Windows 10使用時にMulti-floor Plannerがクラッシュする問題を修正しました。

AMD-855 – サンプルのWi-Fi 6プロジェクトがMulti-floor Plannerをクラッシュさせる問題を修正しました。

AMD-849 – インポートしたAirMapperプロジェクトで誤ったSSIDが表示されることがある問題を修正しました。

AMD-852 – 位置情報へのアクセスをオフにした際にD1080ドライバーがクラッシュする可能性がある問題を修正しました。

AMD-854 – AirWISEでVoFiプロジェクトを確認する際にSurvey PROがクラッシュする問題を修正しました。

AMD-845 – Windows 11にSurvey PROをインストールする際に「OSバージョンチェック」の警告メッセージが表示される問題を修正しました。

AMD-830 - Windows 11をバージョン24H2に更新した後、Emwicon USBアダプターが認識されない問題を解決するドライバーが更新されました。

既知の問題

- AMD-826 – Windows 11 24H2使用時に「Survey has not received any frames from supported adapter (サーベイがサポートされたアダプターからフレームを受信していません)」というエラーメッセージが表示されます。
 - 2024年10月1日、MicrosoftはWindows 11の全ユーザーに対してバージョン24H2の展開を開始しました。Windows 10バージョン22H2搭載デバイスへの展開は2025年1月末まで遅れました。
 - NetAllyは、AirMagnet Survey PROおよびSurvey ExpressとWindows 11 v24H2の現在の非互換性を問題として確認しています。Windows 11 v24H2が推奨アダプターの問題を引き起こし、サーベイデータの収集を妨げています。Microsoftが問題の解決を進める間、NetAllyのエンジニアリングチームも調査中です。推奨対応は以下の通りです。
 - Windows 11 バージョン24H2へのアップグレードは行わない。
 - 既にアップグレードしている場合は、Windows 11 バージョン23H2またはWindows 10 バージョン22H2にロールバックを行う。
 - サポートが必要な場合は、東洋計測器株式会社 NetAlly事業部へお問い合わせください。
netally@keisokuki-land.co.jp
- AMD-744 - Intel AX201アダプター使用時に、チャンネル165のアクセスポイントに対するアクティブサーベイを実行するとアプリケーションが応答しなくなる。
- AMD-750 - Emwicon WMI7211アダプター使用時に、アクティブサーベイ中にPHYデータレートが固定される。
- AMD-376 - サーベイレポートで削除したセクションがレポート本文に含まれ続ける。
- AMD-594 - パッシブサーベイの30台トップAPのレポートページで、3つのバンドすべてにおいて最も強いBSSIDが欠落している。
- AMD-503 - 「APごとの表示」機能でAPプロパティの色設定が保存されない。
- AMD-524 - レポートのAPリストセクションで誤ったAP電力が表示される。
- AMD-755 - 計測詳細で表示されるチャンネルが誤っており、ツリービューのチャンネルと一致しない。

NetAlly製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。